



産廃処分物の自社処理について

汚泥脱水ケーキをはじめ、廃液や高濃度排水といった産業廃棄物の処理には、多額のコストが発生します。本資料では、既存の施設設備を有効活用し、外部委託に依存せず自社内で処理を行うことで、処理費の削減や環境負荷の低減につなげた事例をご紹介します。

事例

● 加圧浮上フロスの削減・脱水ケーキの含水率改善



課題

加圧浮上処理の工程で発生するフロスが脱水汚泥と同程度に達しており、脱水ケーキの含水率も高いため、産業廃棄物処理費用が大きな負担となっていました。



対策

余剰槽に汚泥とフロスを投入し、**油脂分解剤「SANA 油トール A」**を添加して処理を実施。その後、流入負荷の無い土日曜日に曝気槽へ移送し運用としました。



効果

余剰槽曝気にかかる電気代や薬剤コストを差し引いても、年間で **約 100 ～ 150 万円の処理費削減**を実現しました。

● 高 BOD シロップ廃液の産廃削減



課題

シロップ廃液が約 9 m³/日発生しており、その全量を産業廃棄物として外部処理していたため、月額約 60 万円の処理費用がかかっていました。



対策

処理施設に余力があることを活用し、廃液のうち 5 m³/日を自社排水処理施設で処理する運用を提案。ただし、シロップ廃液は糸状性細菌が増加しやすい特性を持つため、油脂・有機酸に強い**微生物資材「SANA WN-EX」**を添加して糸状性細菌対策を実施しました。



効果

薬剤費を差し引いても、年間で **約 180 万円の処理コスト削減**を達成しました。

まとめ

近年注目される SDGs や CO₂削減への取り組みは、企業にとって避けて通れないテーマです。排水処理の現場でも、廃液処理費・電気代・汚泥発生量など、まだまだ“削減できるコスト”が眠っています。サナでは、実績ある事例をもとに各施設の状況に合わせた最適のご提案が可能です。環境対応とコスト削減を同時に実現するパートナーとして、ぜひお気軽にご相談ください。

発行者



本社

埼玉県所沢市東所沢
和田 1-41-6
TEL : 04-2946-2341

北関東営業所

埼玉県本庄市児玉町
児玉 1558
TEL : 090-2476-0616
(武井携帯)

東北営業所

岩手県一関市滝沢字
矢ノ目沢 73-262
TEL : 0191-26-3737

九州営業所

福岡県糟屋郡粕屋町
上大隈 435-1
TEL : 092-939-3716